

平成20年度第6回岐阜県事業評価監視委員会

【砂防課所管事業審議資料】

○ 再評価対象箇所一覧表	…………… 1
○ 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について 公共地すべり対策事業	…………… 2
○ 平成20年度 再評価実施箇所（附図） 公共地すべり対策事業（南垣外） <small>みなみがいと</small>	…………… 3
○ パワーポイント 公共地すべり対策事業（南垣外） <small>みなみがいと</small>	…………… 4～9

# 平成20年度 再評価対象箇所一覧表 月 日 審議箇所

## [ 県土整備部 砂防課 ]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H20.3現在)	地元の意向	関連事業 の進捗状況	社会経済 情勢等の 変化	環境との調 和への配 慮事項	事業費縮 減	費用対効 果分析	対応方針 (案)	特記事項		
						全体事業量	実施済事業量	事業実 施率	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費										工事費等	
27	公共地すべり 対策事業	南垣外	瑞浪市	S60	H22	排土工365千m3 柵入盛土工446千m3 流路工1090m	179千m3 175千m3 1090m	3,187 200 2,987	2,729 195 2,534	85.6% 97.5% 84.8%	23	事業継続・早期 完了を強く希望	なし	県内でも 地すべりが 多く発生	法面植栽に よる險化保 全	現場発生 土の利用な ど	1.2 (1.2)	継続	県下でも 最大規模 の地すべ り。豪雨 時に動き が観測さ れている					

平成20年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 砂防課

○事業制度について	事業名	公共地すべり対策事業
	事業目的	人家、公共建物、河川、道路等の公共施設その他のものに対する地すべり等による被害を除去し又は軽減し、国土の保全と民生の安定に資する。
	採択基準	地すべり防止区域内において、都道府県知事が施行する地すべり防止工事のうち、総事業費が1億円以上で、下流河川や鉄道、道路、その他公共施設、人家10戸以上他に被害を及ぼすおそれのあるもの
	概要 (メニュー)	排水施設、擁壁その他地すべり防止施設等の新設、改良
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦
		その他項目
	費用 ≧C ≦ の算定	・費用の積み上げ基準＝全体計画事業費（工事費・測量試験費・用地補償費） ＋施設維持管理費
		・単価の基準：評価時点 ・評価対象期間（整備期間＋耐用年数（50年））内の事業費を現在価値に換算
費用便益費の基準	費用便益（B/C）は1.0以上であること	

# 平成20年度 再評価実施箇所 (附図)

番号	31	事業名 (路線・河川名等)	地すべり対策事業 <small>みなみがいのと</small> 南垣外
事業実施箇所	瑞浪市日吉町南垣外		事業主体 岐阜県
採択年度	昭和60年	完了予定年度	平成22年
再評価実施基準	再評価を実施した後5年が経過して時点で継続中の事業		
事業目的	地すべり対策事業を実施することにより、人家、公共建物、河川、道路等の公共施設に対する地すべり被害を除去または軽減することを目的とする。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模 幅：1.1km、長さ：0.4km 区域面積：38.1ha</li> <li>対策工 水抜きボーリング L=5,640m、集水井 L=34m(集水ボーリング L=2,600m) 排土工 V=365,000m<sup>3</sup>、押え盛土工 V=446,000m<sup>3</sup>、流路工 L=1,090m</li> </ul>		
概要図			
被害状況			
頭部排土施工状況			



# 事業再評価

## 地すべり対策事業 みなみがいと 南垣外地すべり

### 【事業概要】

事業目的：地すべり対策により、人家、公共施設等の地すべり被害を除去・軽減する。

事業期間：昭和60年度～平成22年度

総事業費：3,187百万円

事業内容：排土工 365,000m<sup>3</sup> 押え盛土工 446,000m<sup>3</sup>  
流路工 1,090m 水抜きボーリング工 5,640m  
集水井工 3基(集水ボーリング 2,600m)

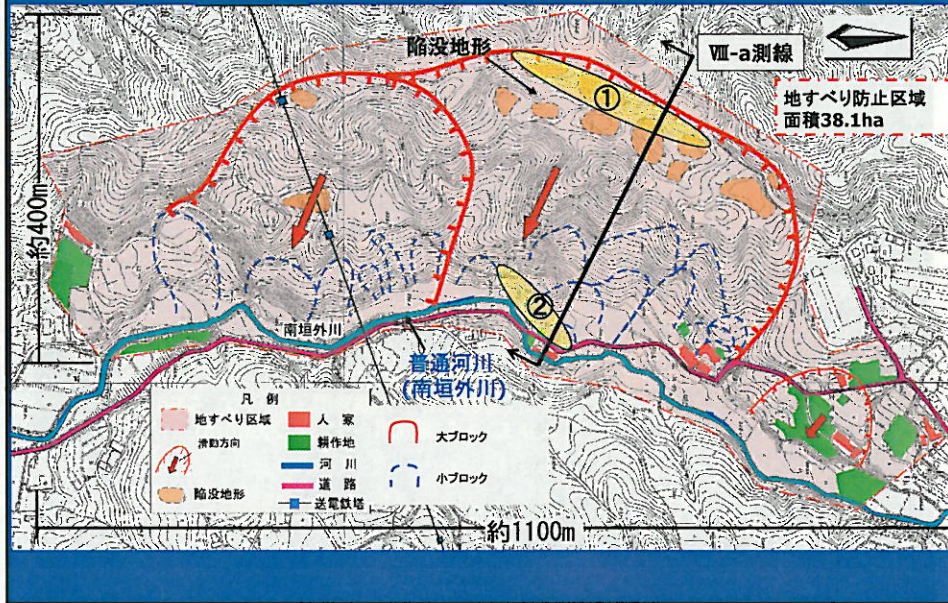
岐阜県 県土整備部 砂防課

## 位置図

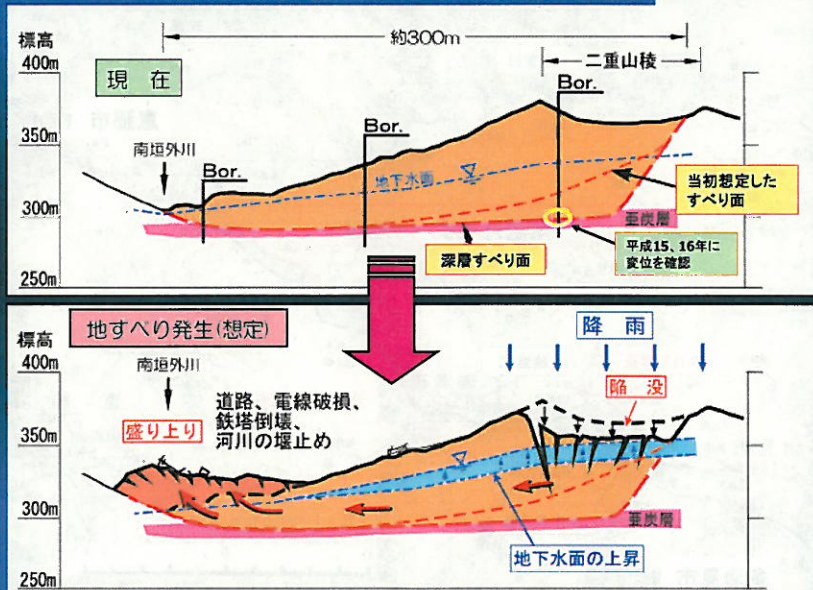




# (1) 地すべりの概要

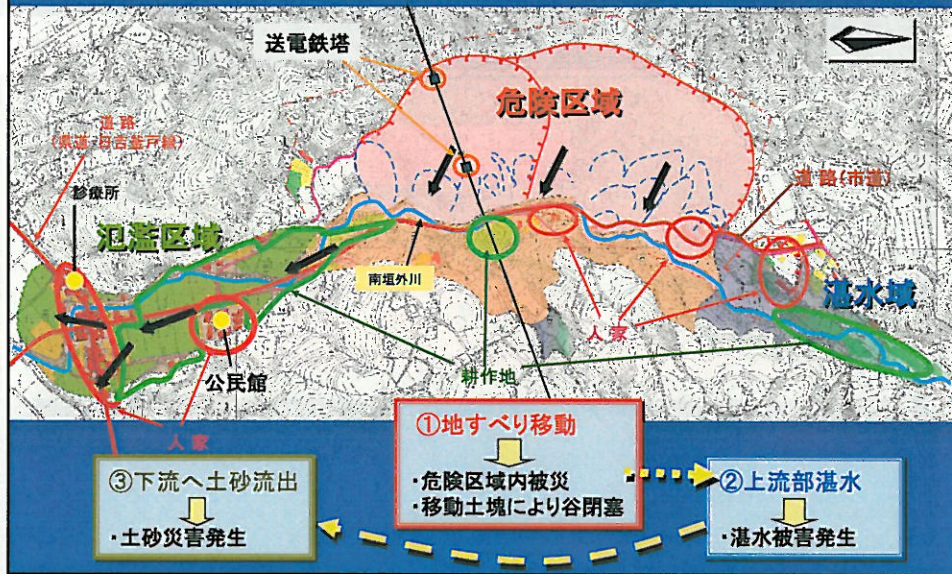


## 地すべり断面図

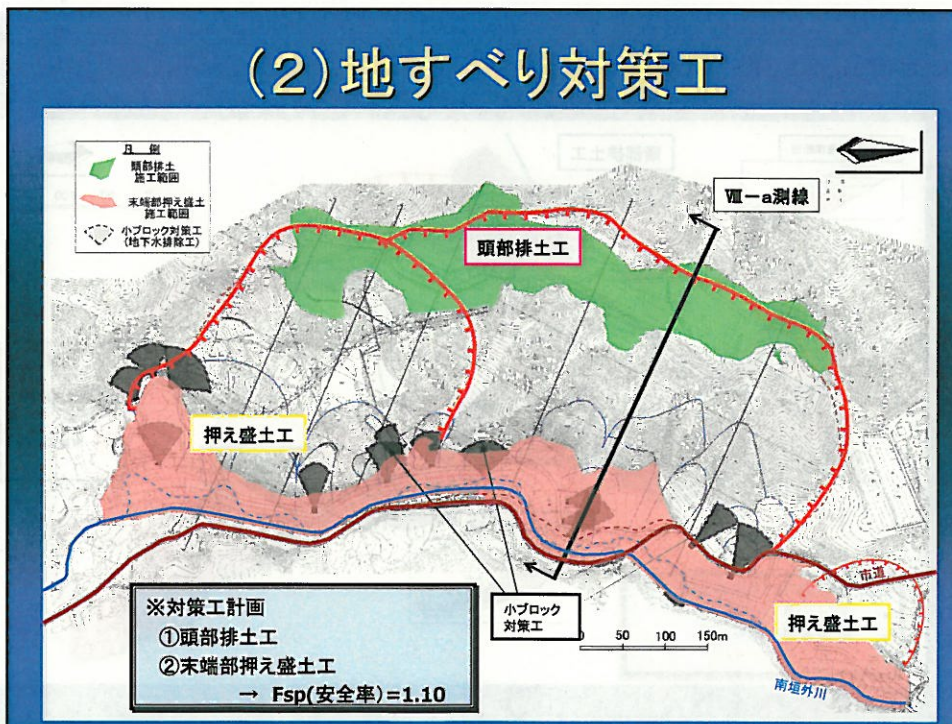




# 保全対象



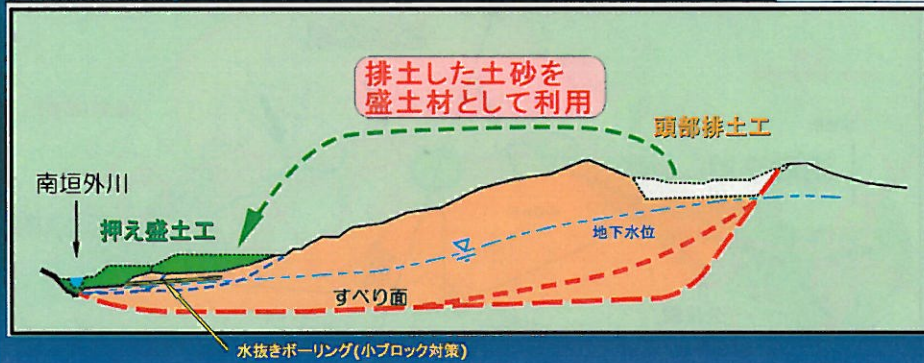
## (2) 地すべり対策工



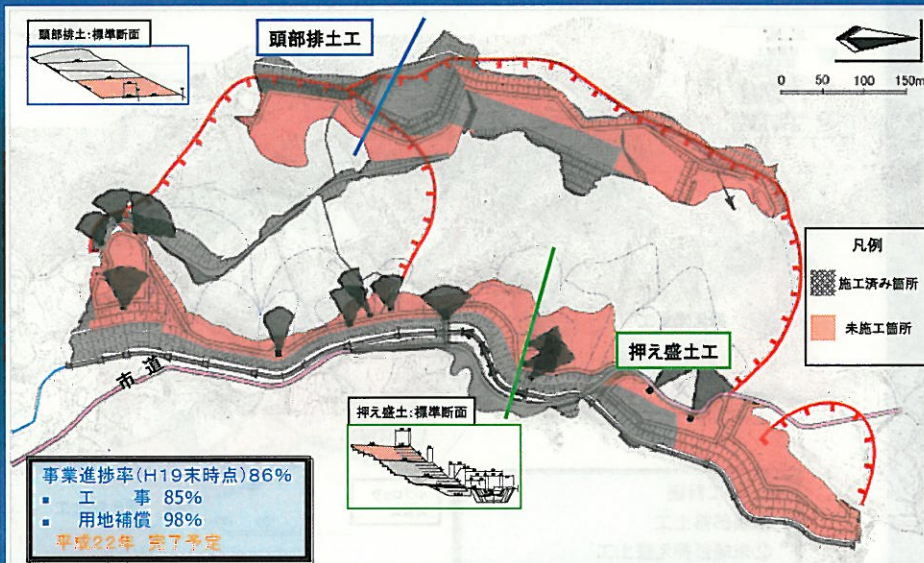


# 対策工断面図

Ⅶ-a 側線



## (3) 事業進捗状況





## (4) 費用対効果の分析

### ■事業の効果

被害軽減便益

効果全体の93%

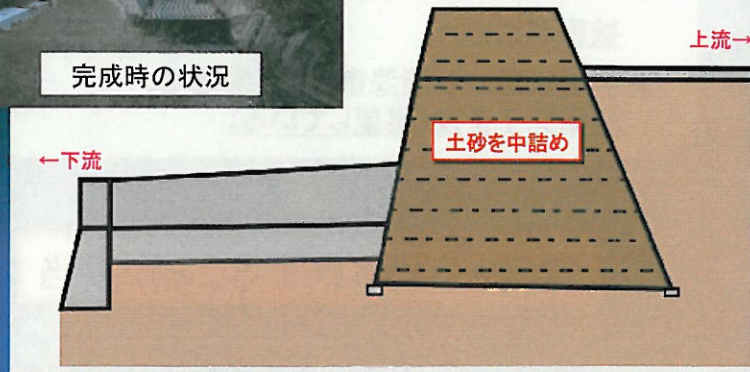
人命保護便益

効果全体の 7%

### ■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額B}}{\text{事業費C}} = 1.2$$

## (5) コスト縮減、環境への配慮



## (6)関係者の意向・社会情勢の分析

### ■関係者の意向

- ・地すべりの調査の継続及び事業の促進を要望

### ■社会情勢の分析

- ・県内における地すべり活動の多発

(H18揖斐川町 東横山地すべり、H19土岐市 山神2地すべり 等)



安心して暮らせる県土づくりのため  
地すべり対策を行う事が重要

## (7)対応方針

- ① 地すべり対策は完了しておらず、豪雨時に動く可能性がある。
- ② 多数の保全対象を有し、地すべり滑動時の被害が大きい。
- ③ 地域住民及び瑞浪市とも事業継続、早期完了を強く要望している。



**継続として事業することが妥当**